

RL78 CS+ for CA からCS+ for CCへのプログラム移植について 20161104

概要

RL78 CS+ for CAで書かれたプログラムをCCに移植する場合、以下の手順で行なえます。

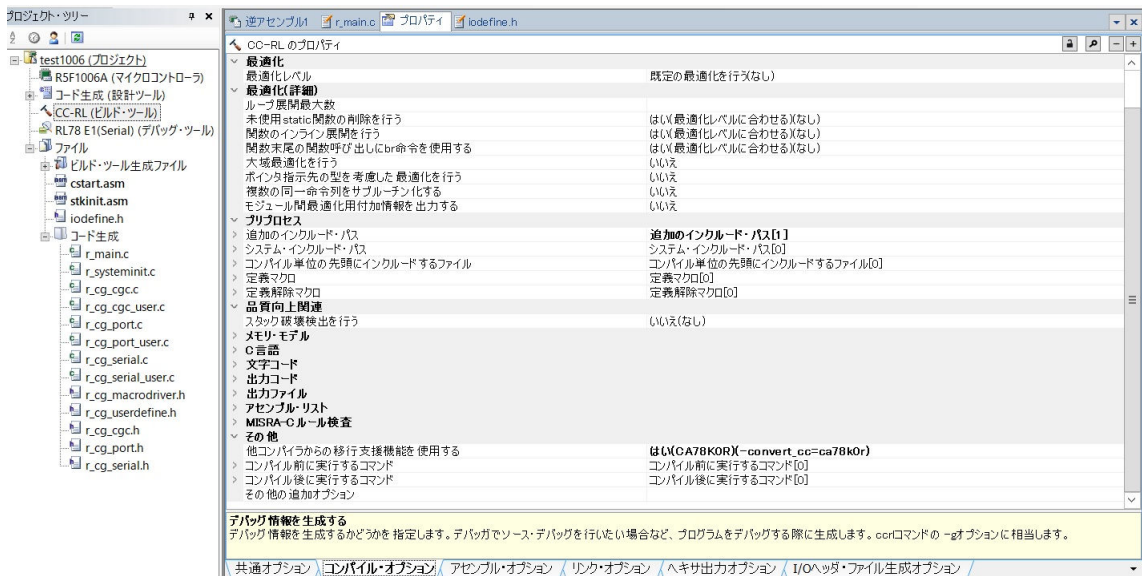
1. 新規にプロジェクトを作り、ポート等をCAと同じに設定し、コード生成を行う。
2. CAのmain.c等のコードはその内容をCCのmain.cにコピーする。

以上でCCへ移植できますが、CC特有の問題があります。

1. コンパイルエラーが出る

例えばP3.0 = 1; という表記がCCでは許されません。そこで対策としては

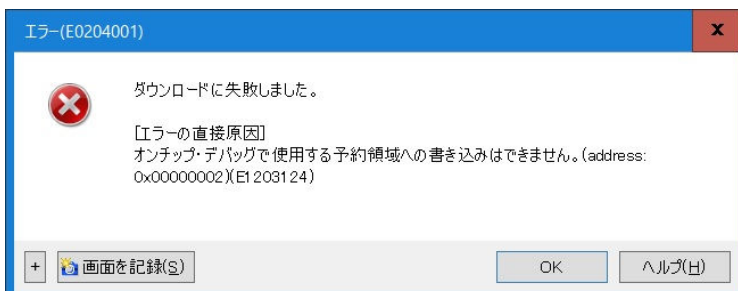
- a) P3_bit_no0 = 1;という風に書き換えて下さい。または
- b) 以下の設定を行って下さい。

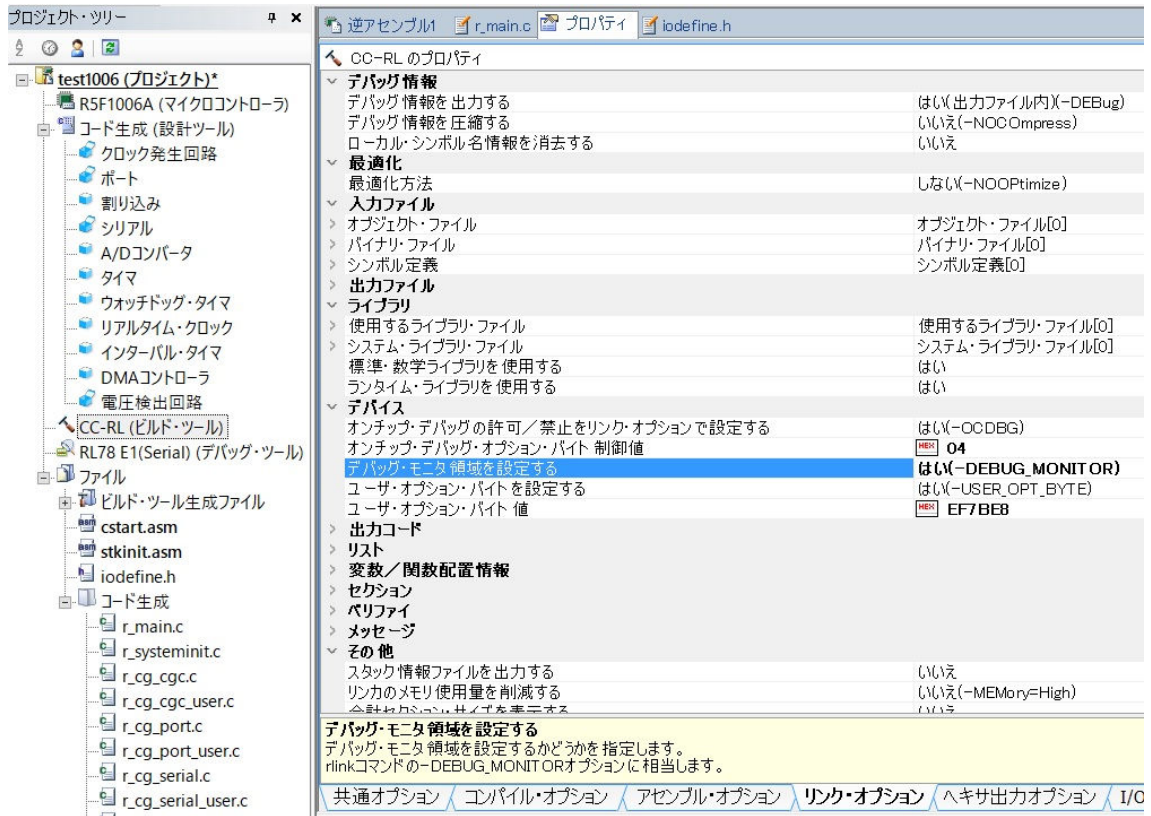


CC-RLビルドツール→コンパイルオプション→その他→他のコンパイラからの移行支援を使用する→はい にしてください。P3.0=1;という表記が許されます。

2. ダウンロードに失敗する

以下のようなコメントが出てダウンロードできない場合、





CC-RL ビルドツール→リンクオプション→デバグモニタ領域を設定する→はい にしてください。

有限会社ビーリバーエレクトロニクス
 〒350-1213
 埼玉県日高市高萩 1141-1
 info@beriver.co.jp